



正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。

議長 塩原 吉三



副議長 青柳 正敏



「就任にあたって」

市民の皆様へ就任のごあいさつを申し上げます。

市政の推進につつましては、日頃より市民の皆様方の深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、平成14年第2回藤岡市議会臨時会において議員各位のご推挙により私どもが

議長、副議長の要職に就くことになり、その重責と使命の重大さを痛感している次第でございます。

少子高齢化、国際化、高度情報化、地方分権化等々、激しく変化する社会環境のもと、市民の声を公平公正に反映させ、分かり易く市民に伝えられる議会を目指したいと考えております。

何卒、市民の皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

6月定例会のあらまし

定例会は、6月11日から6月20日までの10日間の会期で開催されました。

藤岡市奨学資金貸与に関する条例の一部改正についてなど6議案、議員提出議案1件が提出されました。

11日〓本会議、会期の決定。市長提出議案6件を即決。

17日〓本会議、一般質問。

18日〓本会議、一般質問。

20日〓本会議、議員提出議案1件を可決。

一般質問

市長の所信について

反町 清

問 藤岡市の感想について

答 地理的に高速道路の結節点で大変条件の良い地域であり、歴史的遺産も多く産業や観光面等で発展する要素を持っている。市街地周辺には豊かな自然があり、環境的にも住みやすい。しかし、残念ながら社会資本の整備、特に道路や下水道は整備の遅れを認めざるを得ない。

問 今後の市政運営について、財政非常事態宣言について

答 市民の声を反映した市政を推進するには、市民の目を常に念頭に置いて考え、市民の代弁者である議員さんと十分協議し、機会をとらえ地区懇談等を開催し、沢山の意見を聞き市政を担っていきたくと考えている。財政については今までの

事業の償還が本格化する平成17年以降歳入の伸びが期待できない中、歳出を増大する事は財源不足の拡大となる、そこであらゆる事業を見直し経費の節減、財政体質の健全化を図っていくことが最重要課題であるとの認識から非常事態宣言を行った。

医療費無料化 引き上げについて

冬木 一俊

問 現在、藤岡市で実施している入院・外来において、未

就学児の医療費無料化を義務教育が終わる中学生まで拡充して引き上げていくという市長の考えであるようだが、中学生まで一気に引き上げるのか具体的に伺いたい。

答 平成15年度以降の3年間をめぐり、初年度で小学1年生から小学3年生まで、次年度で小学4年生から小学6年生まで、その後3年目で中学生と段階的に進めていける様、検討していきたいと考えております。

問 財源の確保はどうするのか伺いたい。

答 市全体の経費の中で現状を理解し、位置づけたい。

問 児童・生徒を一律同じに分け隔てなく市が負担をするのか、それとも保護者の年収等を考慮し区分するのか伺いたい。

答 十分検討させていただき公正・公平の観点も含めて、今後協議を重ねてまいります。

消防行政について

金子勝治

問 藤岡消防署は、消防力の基準よりも、消防隊員の配備

数が少ないが、出勤件数は極めて多く、過酷な日常業務が続ぎ、消防団は資機材が不足気味で、河川敷火災等、水利のない所では大型水槽車が必要と思つが、この2点の考えを伺いたい。

答 消防力の基準によると現在の職員数は42名で、充足率は56%になり、国の基準に満たないので、将来を見据えた対応を広域組合に伝えたい。

尚、消防団の資機材・詰所・車両等は、年次計画によって充実を図っていくが、大型水槽車の導入は計画されていない。

問 藤岡消防署の訓練場は狭くて不便であり、移転を考慮する時期ではないか。また、日野地区は面積・人口共に万場町と同程度であり、日野消防分署の設置を考えているか伺いたい。

答 消防署の移転は第四次計画になく、日野地区の消防分署も、第四次計画には入っていないが、日野地区にも消防分署は必要と考えているので、関係市町村で協議を重ねていきたいと思つ。

学校教育について

金子勝治

問 学校図書を購入費が特別枠として計上されたが、本

棚・机・いす等も整備が始まったので、次に図書室の一部に、カーペットや畳を敷いて、リラックスタイプの読書の環境づくりはどうか。また、昨年は「子供の読書活動推進法」が成立し、今

年度から5年間で、地方交付税650億円を充当し、公立小・中学生の図書を、全国で4000万冊増加するが、これをどの様に整備するのか伺いたい。

答 県の補助事業の「環境に優しい木の活用推進事業」で図書室の整備を進めている。学校図書館支援隊による、環境づくりも進みカーペットや畳敷きの、安らぎと潤いの図書室への改装も、十分協議をして、段階的に取り組んでいき、図書室の書架や机、いすの整備は、県の補助を受けながら引き続き進めていく予定である。

市民プールについて

茂木光雄

問 7月1日オープンする

「みずとぴあ藤岡」の入場料が他施設に比べ高すぎる、又、収容人員600人のための駐車場が狭いとされる点、さらに混雑がひどい場合の入場制限があるのか否か伺います。

答 入場料については市民の利用状況をみて利用者の意見を

聞きながら対応したい、さらには夏期のみ子供半額というところも検討していきたい。「みずとびお藤岡」はこれからオープンする施設なので委託料や維持費等の節減を検討し市民の期待に答えられるようにしたい。

財政改革について

茂木光雄

問 公共事業費の総額削減各種補助金の見直し、新たな収入増のための具体的な取組状況について。

答 公共事業の今後の縮小については効果的な事業の選択を行い事業内容を精査し事業費の縮減と効率化を図る。各種補助金の見直しは行財政改革実施委員会で検討して平成15年度以降の予算編成に反映させていきたい。景気の悪化から一般財源の確保が大変厳しいなか、市としても普通財産の貸付や売払い等個々に応じた活用方法を検討していきたい。中心市街地の土地利用について、特に古桜町地内の土地については早急に活用

ための方向性を出していきたい。

病院の現状と負担金について

松本啓太郎

問 公立藤岡総合病院は現在、藤岡市・新町・吉井町・万場町・中里村・上野村の1市3町2村で構成しています。病院の新築・増改築・設備等の負担割合は3分の1が病院であり3分の2が市町村であります。この3分の2の90%を藤岡市が負担することに規約で決まっています。負担割合の推移は、平成8年度まで藤岡市が70%、町村が30%となっていた、平成9年度より本市が90%となりました。この負担金額を平成元年から平成13年まで計算してみました。今後の13年間はどれくらいになるか、約80億円になります。外来センターの新築・病院改修等により借入金が増大したことにあります。そこで外来センター開業2ヶ月間の患者さんは何人になりますか。

答 平成13年度同時期と比

べ22%減です。当初計画は1日820人で実数は654人で20%減です。

問 病院改修後のベッド数は何床になりますか。

答 病床数424床は、人間ドック分8床一般病床分416床ですが381床になります。

問 救急医療の市負担金は、平成13年度まで3千万円であった、平成14年度より1億7千700万円となったが、充実されるところは。

答 センター長1名置く、専任看護師は18人を3交替で勤務、受付事務、料金計算をその場で行うことになった。

問 病院当初予算は赤字であるが市担当部は知っていますか。

答 赤字となっていることは承知していた。

第三セクター

クロスパークについて

松本啓太郎

問 ちらん藤岡第三セクター
クロスパークは出資金1億円

のうち藤岡市が62%の6千200万円出資しています。平成13年度クロスパークの業績はどのようになっていますか。

答 当期損失は2千406万円です。開業前の平成11年度からの累積損失は6千736万円であり非常に厳しい状況です。改善策を早急に検討し対策を図ります。

北藤岡駅周辺事業

について

針谷賢一

問 本市では北藤岡駅周辺区画整理事業の見直しを考えているのか。それから、最近の地権者の反応について。又、今後の取り組みについて伺いたい。

答 この区画整理の計画につきましては、地権者の方々と数年にわたり話し合い協議をして最終的に今の計画になり、昨年度仮換地の発表が終了したところでございます。この様なことから、今の時点で見直しと言うのはいかなものかというふうに考えております。次に関係

地権者におかれましては土地区画整理の事業内容及び事業効果について、理解をされてきております。区画道路が整備され、雨水及び汚水等の排水問題の解消や宅地の利用増進が図られることなどが具体的に見えて来たと認識でございます。この様なことから、最近では事業の進捗を早めていただきたいという意見・要望が多く寄せられているところでございます。又、現在、大変厳しい財政状況でございますのでいかに総事業費を圧縮できるか、地域の皆さん及び区画整理審議会等の関係機関と協議し、事業の早期完成に努めたいと考えております。

温井川整備について

針谷賢一

問 公立藤岡総合病院外来センター際の温井川周辺には医療・福祉的な施設が点在していますが、その周辺を整備する予定はあるのかどうか伺いたい。

答 温井川周辺は各種医

療・福祉ゾーンとなっております。これらの施設は、高齢化社会を支援するものです。さらに、高齢者自らが健康づくりやリハビリテーションができる環境整備の支援が出来れば、その相乗効果は多大と考えております。

一級河川温井川周辺は良好な水辺環境を有しております。今後は河川管理者であります群馬県と整備手法、整備主体、管理方法等について協議しながら進めてまいりたいと考えております。

公共事業と

公共施設について

三好 徹明

問 ららん藤岡のテナント出店、退店について。

答 平成12年オープン当初は13区画のうち12店舗入店したが、現在7店舗が営業中である。社会経済状況など厳しく、出店希望者と入居条件が合わず現在に至っている。

問 公立藤岡総合病院棟工事に伴う騒音、振動対策について。

答 病院に問い合わせた結

果について回答いたします。騒音工事は6時までとして、看護師による心のケアを心がけておることです。

問 外来センターと病棟間の患者移送について。

答 車いす2台対応の9人乗り連絡バスで30分間隔で運行し、緊急患者に対しては病院救急車両を運送することで臨機対応していることです。

職員採用について

三好 徹明

問 市の職員になるにはコネや縁故が無ければ採用されないといったつわさがたえませんか。過去10年間の年度別受験者数と採用者数、および市内出身者数について。

答 平成4年以前は文章保存の関係不明です。

H5年採用者16人中市内出身14人
H6年採用者6人中市内出身5人
H7年採用はゼロ

H8年受験145人採用16人市内13人
H9年、受験84人採用14人市内13人
H10年採用はゼロ

H11年受験134人採用14人市内14人

H12年受験139人採用11人市内9人
H13年受験108人採用10人市内7人
H14年受験166人採用9人市内6人

女性政策について

大戸 敏子

問 市の女性職員の管理職登用について。級別職員の数と女性職員の数及びパーセンテージについて。昇格の仕組みと他の状況について。

答 職員数452人女性はい44人約32%です。5級係長女性0。6級主幹全員女性33人、6級係長女性0。6級課長補佐女性6人、7級課長女性1人、8級9級女性0。昇格は男女同一基準です。他市の状況は課長以上で伊勢崎市0、渋川市6人等で平均34%、藤岡市は1人17%です。

問 管理職の6級係長は女性0、非管理職の主幹は全員女性の理由。職員の3分の1が女性なら管理職も3分の1が女性でよい筈。今後の女性政策は。

答 管理職には限りがあり

団塊の世代の為に主幹を設けた。いずれは男性も主幹につく。

男性社会の名残りもあり実情はなかなか進まないが能力も意欲もある女性の管理職登用を図っていく。市は、男女共同参画の実現に指導力を発揮したい。

介護保険について

斉藤 千枝子

問 65才以上の保険料段階別設定は市で可能です。わずかな年金で頑張りしている方に配慮した設定をしていただきたいが伺います。

答 第2段階のみを一律に減免することは不可能と考えております。

問 要介護者の所得税等の障害者控除の手続きについて伺います。

答 障害者手帳に準ずる該当者として申請していただき、該当者であれば障害者控除対象者認定書の交付をします。

問 医療費控除における介護サービス利用料はどのようになっているのか伺います。

答 介護老人保健施設、療養型医療施設の自己負担額及び診療、治療を受ける為に支払うもの、介護福祉施設の自己負担額の2分の1。居宅サービスの医療系サービスの訪問看護、訪問通所リハビリ、居宅療養管理指導短期入所療養介護、入所生活介護、訪問入浴等の自己負担額が医療費控除の対象となります。

文化遺産(芦田城址)の保存について

吉田 達哉

問 第一小学校の北側、芦田城の跡地周辺に民間の会社が資材置き場として使用していた土地が、きれいに片づいていますが、昔、そのあたりには、お堀があつてお城の風情が残っていたが、いつの間にかゴミ捨て場になってしまい、今、思えば残念に思うが、この芦田城の歴史と現状をどう認識しているのか伺います。

答 歴史については、芦田康貞が小田原の戦いで徳川の武将として活躍し、芦田50騎と言われる一族と藤岡に城を築いた

と認識している。お堀の埋め立ては40年前の事であり歴史に対する認識不足で貴重な遺産が埋められたことは残念だが、その一部を保存するチャンスと考えています。

問 お堀の周辺が更地の状況ですが、城趾緑地を拡張した形でお堀の復元や市民の憩いの場の整備等、何か考えられないか伺いたい。

答 現在、お堀跡は民間の土地であるが、芦田城趾は歴史的価値のある史跡であるので、この部分のお堀再現について関係部局と協議し、早急に総合的に積極的に進めます。

高校再編に伴う対応について

吉田 達哉

問 過日の新聞報道に市内の高校再編が掲載されたが、現状と、県と市の役割について伺いたい。

答 群馬県は学校教育改革推進計画策定委員会を設置し基本方針を策定。それに沿って魅力ある高校づくりを、街づくり

人づくりの中から考える為、協議会を早急に発足させる。

問 藤高、藤女が統合され現在の藤高の場所に設置されれば通学路等の周辺整備から考えても城趾緑地を整備して欲しいがどう考えているか伺いたい。

答 城趾緑地周辺は、第一小、藤高等の教育施設や中央城山公園等の公共施設があり歴史と文化を感じさせる地域であるので、都市計画決定等、保全に向け調整していく。

公共工事の入札改革について

笠原 史嗣

問 コスト削減についての手法 計画・設計段階でのコスト意識 各部署ごとに工事積算し予算を決定するがその時点でコストを考えているのか 公募型や一般競争入札を取り入れる考えはあるのか

現場説明を廃止し業者が顔を合わせないシステム構築をする考えは 今年度の公共工事コストの削減を何%目標で

実行するのか 入札改革をいつから実施するのか。

答 藤岡市公共工事コスト削減対策の行動計画に基づき関連工事の経費の合算、他部署との重複工事の防止などをし、削減に努めている 発注ロットの見直しや構造物が華美、過大にならぬ様にコストが低くなるよう調整している 市単独の工事単価の作成が難しく、国、県をもとにし、藤岡版の単価、歩掛りを使用し関連工事の経費合算を考慮し積算している 市内企業の育成や調整が最大の課題で分離一括の発注方式については一定規模以上の工事については分離発注し中小建設業者の受注機会の確保を考え、他市町村の動向を見て進めていきたい

現在99%近く廃止されている。又、談合防止という意味からも予定価格の事前公表をする場合は郵便入札を考えて検討します

削減の目標は設定しないが、なるべく大きくコスト削減出来る様に努力したい 行財政改革実施委員会の重点項目に位置づけ、なるべく早い時期に施行を

含め考えていきたい。

行政評価制度について

笠原 史嗣

問 行政評価制度についてどのような考えを持ち取り組まれるのか。

答 行政評価制度についてはいろいろな問題があり市町村レベルではあまり取り入れられていないのが現状であり、とりあえずは行政評価の指標作成よりも早急に事務事業の見直しを実施委員会で行っているのをこちらの方へ重点を置いてやっていきたい。又、時間的なゆとりもないので十分研究し他市町村の動向も見ながら進めていきたい。

新市長の市政方針について

新井 雅博

問 厳しい財政環境下での新市政のスタートであります。新井市長はどのような基本姿勢で市民の負託に答えていくのか伺いたい。

新市長は不退换の決意で、行財政改革に取り組みたい。そこで早急に事業計画の見直しや、諸問題の検討等を行い市民に解りやすく、正確で新しい、多くの情報提供と合わせて、一日も早く行動指針を示せるよう、最優先で取り組んで参ります。

答 社会経済状況を深く認識し、行政運営に努めて参ります。又市民の目から見た時、平等感や満足感といったものが、感じられる行政を目指して参ります。

問 新市長は不退换の決意で、行財政改革に取り組みたい。具体的な行動指針について、現在の財政状況と合わせて、いつ頃示されるのか伺いたい。

答 さっそく行財政改革実施委員会を設置したところであり、

掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(8月末公開予定)をご覧下さい。

議案等審議結果(5月臨時会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 1 号	専決処分の承認を求めることについて(藤岡市税条例等の一部改正)	承認(全員一致)
報告 2 号	専決処分の承認を求めることについて(藤岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部改正)	承認(全員一致)
報告 3 号	専決処分の承認を求めることについて(藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正)	承認(全員一致)
報告 4 号	専決処分の承認を求めることについて(平成13年度藤岡市一般会計補正予算第4号)	承認(全員一致)
選挙・選任		
第 1 号	議長の選挙	当選
第 2 号	副議長の選挙	当選
	経済建設常任委員会委員長の互選	選任
	経済建設常任委員会副委員長の互選	選任
	議会運営委員会委員の補欠選任	選任

議案等審議結果(6月定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 5 号	平成13年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 6 号	平成13年度藤岡市水道事業会計予算の繰越について	報告
報告 7 号	専決処分の承認を求めることについて(群馬県市町村総合事務組合規約の一部改正)	承認(全員一致)
第 38 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員一致)
第 39 号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 40 号	藤岡市奨学資金貸与に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 41 号	市道路線の廃止について	可決(全員一致)
第 42 号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第 43 号	字の区域の変更について	可決(全員一致)
報告 8 号	専決処分の報告について(損害賠償について)	報告
議員提出議案		
第 2 号	藤岡市議会会議規則の一部改正について	可決(全員一致)
推 薦		
	藤岡市農業委員会委員の推薦について	推薦
選 挙		
第 3 号	多野藤岡医療事務市町村組合議会議員の補欠選挙	当選
第 4 号	群馬県六市自転車競走組合議会議員の補欠選挙	当選

編集後記

盛夏の候、藤岡祭りも盛大に行われ、一時の涼を求め楽しんでのことと思われまふ。

7月1日オープンしました『みずとびあ藤岡』ご利用頂けましたでしょうか。市民の皆様の健康増進にお役立て下さい。

さて、5月10日新井市長就任により新体制がスタート、6月定例会が無事終了しました。今後、紙面の改善・工夫をし、市民の皆様様に議会活動がより一層ご理解いただけるような、読み易い議会だよりをお届けします。今後ともよろしく願います。

委員長 青木 寛
副委員長 松本啓太郎
委員 金井 壽

" " " " "
" " " " "
中村 菊雄 斉藤千枝子 片山 喜博 反町 清 冬木 一俊

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局(☎221211内線2361)へ